平新報

發行日 每月三回 五ノ日發行
編輯兼發行印刷人 山野邊庄吉
福島縣平町大町六 發行所 平新報社
廣告料 五號十二字詰一行 一回五十錢 場所指定倍增
一部 定價金十錢 送料 五厘

疲弊農村振興策

一九三一年を迎へて

石城養蠶奬勵會技手 木田藤次郎

農村は疲弊のドン底に沈倫し、農民は手の錐、足の踏む所を知らざるの一九三〇年。血なまぐさい濱口首相遭難の一九三〇年は去つた迎ひて一九三一年ルリの如き波靜かなる新玉の年の歳を全世界津々浦々の隅に至るまで荒寒んだる不景氣は好轉升風して好景況の一九三一年の農村に幸ひ多かれかしと先づ祈りの筆を走らすに平新報の元旦號に題したい。

農村はなぜ疲弊するか、農民はなぜ生活上に一沫の不安を感じ居るか、言はずもがな、收支相償はぬに先づ因を求めねばなるまい。然らば因となる源は奈邊に基くか。

曰く、農家經濟、否、農政經營方の幼稚、缺陷に其大を求めねばならぬと結論に走るであらふ。農村の疲弊先づ振興せしめんと欲さば少費多穫の農家經濟改善策に行かねばなるまい。一生懸命勞して汗水を流し然而收穫し得たる實收は何程か、決して勞資したる程の收得は望み得られもせんのである。斯の如く勞資しは欠損し、又資勞しては損失をしと欠損に續く欠損をまねぐに幾度とはなく二重なるに於てをや、初めて農家經濟の算盤玉に狂ひが生じ延ては疲弊農村暗黒の幕は切つて落さる事となるであらふ。

茲に於て實際農家たる我等農民は、農業の經營法に旨を致し其改善策に文化的智識を以つて爲し、能率增進にムダ時間を使つて活かす法を採り、勞力增進に農機具の器械化、電化を以つて爲し、金肥購入に堆肥、厩肥の製造奬勵充實し、閑農期の副業に藁細工、竹細工眞綿の製造其他等の手工作業に意を注ぐなれば多費少穫は相對性原理に於て期せずしてそは少費多收穫の實際彼岸に到達せらるゝであらふ。而して出すを制して入るを計るである斯くなれは農民否農村は疲弊のドン底より初めて浴して振興の光りを拜み得られ、農民振興の旗は高々と一億萬同胞の頭上に揭揚せられるのである。

猶へ、はげめ、努めよ、一九三一年の農民諸君

昭和辛未年頭感

昭和六年元旦 高濱兼義

農村の現況を救ふものは辯護士に非ず、醫師に非ず、學者に非ず、軍人官吏に非ず、勿論金持の道樂息子に非ず農民自らの力なり。須らく合法的理解ある農民黨を組織し、其總裁を總理大臣たらしめよ、然らば農本國の名をデンマークより奪ひ、神ながらなる瑞穗國を實現する事を得ん。鐵筋コンクリートの建物は都會の專有物に非ず農村の堆肥小屋、馬小屋をも鐵筋たらしむる事易々たるのみ先哲曰く、樹上の猫は易し自ら登ればなり。樹上の犬は危し人に依て登ればなり鳴呼樹上の犬に類する多きに非ずや、予の如きは其然るを耻づ切に諸君の自然を望む。

社頭雪

高濱勿來

よゝ木野の雪の曙、
ほのかにも
國の神橋
人わたる見ゆ

内科、小兒科、皮膚科
[illegible]醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

X光線科
[illegible]
平南町 電話一二九番

味噌。醤油
平稅務署向通り
山野邊米店
電話（呼出）一九三

内科・外科・診療一般
片岡醫院
片岡鎌三郎
電話一一三番
湯本町驛前通

磐城セメント代理店
西村屋藥舖
平二丁目
長電話參番

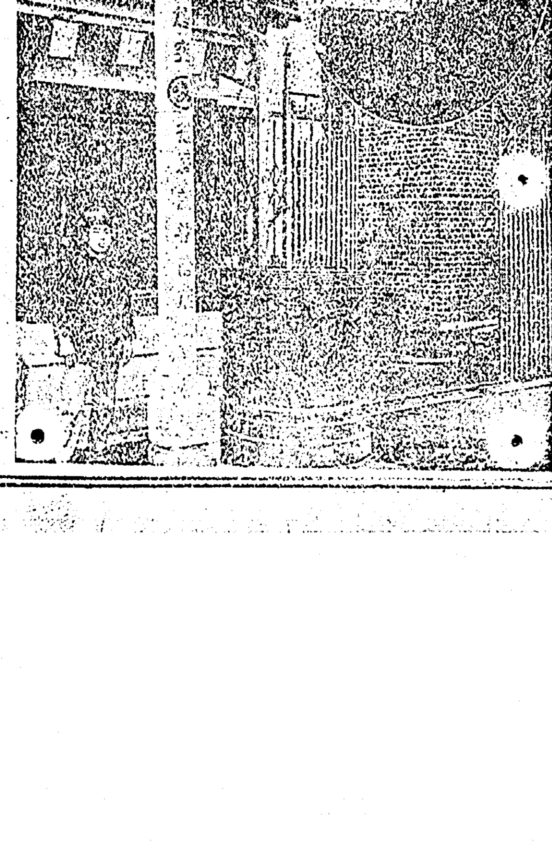
液體空氣會社製
（酸素含有量百分中九九、五）
（東京工業試驗所證明）
吸入用酸素、酸素吸入器
正確体温器
寒暖計
關内藥局
電話四〇番

御買物には是非㊧
中野呉服店
平町三丁目
電六七番

平町田町
高久病院
電話五一三番

日本石油株式會社特約店
平町二丁目
油問屋 淸関内油店
關内正一
電話長十六番
支店 郡山市驛前
電話三二八番
支店油槽所 茨城縣多賀郡關本驛前
電話（平潟）三七番

サビナイ。ヤケナイ。クサラナイ
石綿セメント製
朝日煙突
耐水。耐火。美麗。廉價
磐城セメント特約販賣店



和洋銅鐵金物
㊇釜屋商店
平町五丁目 電話九番・九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
㊇良品廉價に勝る商略なし確實敏捷は㊇の生命なり

一陽來福の新春を福祝いたしますと共に舊年中の多大なる御厚配を深謝し將來の御指導を御願ひ致します

一、昨年の三月二十四日中町信用組合通常總代會に於て、總代の私達は時の信用組合改造の必要を痛感し、役員の改選を斷行致しました。

二、元より私は前組合長大谷久藏氏とは同町の然も隣家の先輩であり、何等私怨を抱へて居つたのでなく、唯中町の爲めに、信用組合前途の爲めにこれが改造を爲したまでの事でした。

三、同日私は監事に就任致しました。時偶々私は一月末より神經痛靜養中にて餘暇ありし爲めに、新役員引繼後の整理事務をお手傳へ致しました。

四、八月二十二日の臨時總代會に於て私は、理事の補欠として就任し、組合長を輔けて專ら固定貸付金の整理に當りました。

五、十四ヶ年間殆んど手の附けなかつた整理をこの不況時に爲す事は、或はその時機でなかつたかも知れませんが、組合の金庫の底の塵を洗ひ清める意味で努力致して參りました。

六、隨つて整理さるゝ側からは、非常に憎まれ時には直接間接に迫害も受けました。而し私は私利私慾地位名譽獲得の手段として、組合理事の職を穢してゐるものでは斷じてなく、平町金融界庶民階級生活向上の爲めに、一片の私心なく、政黨情實に囚はれず、正義公平を以て邁進致して居るので、心中常に「秋天清月」の概を持して居ります。

七、組合の成績は近く事業報告書を以て詳細に御報告申上げますが
1、昭和三年度以前の古い證書は一枚もなく債權の確保は完全に爲され、純資產狀態に立至りました。
2、引繼當時の預金三萬五六千圓が唯今は十一二萬に增加し、
3、貸付金十二萬が二十一萬に增加し、
4、事務多忙で、勸誘も出來ないのに組合員が自發的に增加し、
5、貸借尻が十五萬から三十萬以上に增加致しました。

八、唯縣下福島市、郡山市若松市のそれに比ぶればお恥づかしいのですが、それを目標として努力致して居ります。

九、本年度は組合員の勸誘出資の增口、未拂出資金の徵收に一段の努力を致し、即ち自己資金充實を劃りたいと念願致して居ります。

十、前にも申上げましたやうに、私はこの仕事を爲す心算もなく、いつとはなしによそ事でなく考へるやうになり、誠心誠意努力したといふに過ぎません。隨つて各位の御聲援と御遠慮ない御忠告を切にお願ひ致します。そして御指圖によつて何時でも勇退いたしますことをお誓ひ致します。年頭に當り御指導戴かねばならぬ皆樣に年來の御厚志を謝し併せて缺點の多い、一個の人間としての私を御鞭撻願ひます。

昭和六年一月三日

三森虎雄

話耳目

十三日の石城政友部會總會にて井上茂作氏が幹事長に推され就任した、現狀の石城政友にして幹事長といふ要任に〇銀關係から推さなかつた事、時勢を觀るに敏にして賢明な事であると、ある農村の政論家を評して居つた今尚〇銀の破碇はのウラミは長しきものである。井上氏老背ながら愛黨心の發露からうけたとの壯なる決意老いたりと雖、新らしき思想の持主切角自重を切望してやまぬ。

× ×

本紙の記事等につき種々忠言があるが匿名等にせず正々堂々當つて來て欲しいものである。如何に匿名にしても手スヂや文意で何人か判つて居る、殊に前々號からものした平地方新聞の批判を中止してくれとの事だから迷惑する人があるならやめる事にするが、自ら文化業にあらずしてクだらなき公の問題ならいざ知らず私的問題を寄書して得々たらぬ事だ、その人の人物を益々小さくし殊更に敵を求め、事を構へて平地に波亂を起す事は賢明なる人のなさざる事ではあるまいか、又直接忠言する人は曰くどん／＼破邪顯止の筆を振ひと、然しこの人にして自家撞着矛盾の點がある他人の事をかゝれると快哉を叫び、己れの事や己れに關係ある事なら××をするとか、何とか騷ぎ廻はるのだからオかしくなる。兎に角旬刊は旬刊としての使命がある。日々の社會相雜事は日刊に讓り事あるの時全面をさいても力筆正判する準備と意氣がある事は過去に於ける本紙の筆勢で判斷して欲しいものである。〇銀の時御大典の店円表彰の如きその一例であると信ずる。平常は羊の如くオトナしくしてよろしい。

× ×

來る九月は縣議改選である。………

× ×

別項揭載の三森虎雄君の私信は中町某氏に配られたもので、某氏の揭載方希望により揭載するが三森君と庶民金庫については×××××××××××××××××、いつれ紙上質問する事とする

——〔與立〕——

小名濱町 志賀家の慶事

小名濱町志賀要平君は今回同町中村三郎氏の媒妁により磐崎村大平富子さんと客月二十一日華燭の典を擧げた。因みに新郎は同町元助役故義次氏の長子、新婦は東京女子專門學校出の才媛であると。

磐中同窓 新年會

磐中同窓會新年會は恒例により去る三日午後七時より中町住吉屋本店にて開催、諸橋會長都合欠席、酒井副會長開會の辭を述べ、橋本校長の挨拶等あつた。「寫眞は磐中校長橋本文壽氏」

二八會 新年會

磐中第十六回卒業生を以て成る二八會は去る五日午後四時より湯本町松柏館に於て開催、恩師たる山崎宣吉遠藤中太爾先生を招き懷舊談に味が入り、會友よりの祝電等あり意義深きものであつた。當日出席せる會友左の如く、

大越新、菅原道一、鯨岡久一郎、鯨岡潔、比佐榮一、岡田朝五郎、諸橋元三郎、關内正一、山野邊久利、山野邊庄吉、

盛儀なりし 鈴木唯吉翁の葬儀

中町四丁目中消防組部長鈴木長三郎氏嚴父唯吉翁鈴昌院長譽唯雪善淸居士の葬儀は去る十二日自宅出棺九品佛寺にて執行せるが會葬者多數、木村代議士等の弔辭あり盛儀であつた。因みに翁は行年七十三歲

知人消息

高木一氏　常磐銀行植田支店の氏は今回久慈濱支店に榮轉した。

養正會 會員大會

齋藤晃氏を支部長とする立憲養正會磐城支部では、本十五日午後六時より湯本町會田整骨院にて會員大會を開催

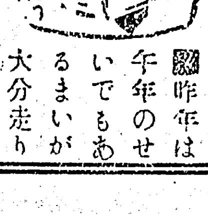
安藤氏病む

安藤信熙氏は數日前より中耳炎を病み高久醫院の加療中である。

音信交換

栃木縣芳賀郡茂木町鐵道官舍　高野森造

謹んで辛未の元旦を奉賀候皆々樣何時もながら御壯健に亘らせられ何より結構と存じます遠さかれば疎んずるならはし其後は御無沙汰勝ちで何とも申譯ありません小生在勤驛では年末年始と云ひかなり荷物及旅客も移動いたしまして世の中の不景氣も裏切りした樣な氣分がしました實際は目下減收なのであります本日貴殿から新聞を頂戴いたしました何より先きに郷土のニュースを知りたい爲めに繙けば紙端の一すみに二八會新年宴と六文字あるを見る五日に開催遠き異縣にある小生にとりて又現在の境遇にてはとても出席できませんが故舊を溫めて會談することも出來ないと思へば殘念でありますしかし何時かは歸省する時もあれば其の節に立寄ります會員にも宜敷



■昨年は午年のせいでもあるまいが大分走り廻つた妓があつた。例の橋家の若千代の如きはその最たるもので、最近立ち戻つて秀次として二度のつとめをして居る。■玉川の例の小糸は仙臺の方をへめぐつて又もや古巣戀しく玉川から小さんとして竹の家の磯齋、暫らく磯濱に巣ごもり中であつたが巣立ちして相變らず磯齋として竹の家より三度の披露目。■品澤の蝶々、林家の林千、山形家の夢路、色子、玉川の小糸なんど休業中だが櫻時までには出られそだらふとの事である。うちにも蝶々小糸は早いかも知れぬとの事である。■又も例の〇〇愈々仲家の小清を落籍、新川淵に新居をカマいたはこの不景氣に景氣この上なしと見える。これ時代に逆行し行く現象で新川を逆行すれば判らぬとの事だが新川の逆行は大洪水の時許りだが何日の洪水逆行には附近人當てられる相だ。